

第47回全日本こけしコンクール



＜入場無料＞
 ●開催期間 5月3日～5月5日
 9:00～17:00
 ●会場 ホワイトキューブ

コンクールには「ここでしか見られないこけし」が全国から一堂に会します!
 「地場産品まつり」では、白石市の地場産品が一堂に会します!



「こけしの実演販売」では各系統の
 工人さんが一堂に会し、その場で
 こけしを作ります!

そのほかの催しも
 盛りだくさん!
 この機会にぜひ会場まで
 お越しください!



「こけしの絵付け体験」では、こけしに絵を描いて、自分だけのこけしが作れます!

★豪華特典★

- 5月3日(祝) ・1尺5寸のこけし(展示場・即売場一番乗りの方)
- ・記念品(展示場・即売場先着各50名)
- ・緑化木(数量限定)
- 5月4日(祝) ・緑化木(数量限定)

【番外編・コンクールが始まるまで】

- 1 工人さんに審査品の申込書を郵送。 前書き、立て札作りを始め、入賞者の台に飾り付けする。
 - 2 送られてきた作品を一つずつ確認し、各系統・部門別の台帳を作る。
 - 3 会場作り。地元の工人さんたちも一緒に展示台にシートを貼ったり、作品の展示や会場の周りにのぼり旗を立てたりする。すべて手作業。
 - 4 こけしの各賞を決めるために、専門的な先生が集まり、審査会をする。
 - 5 各賞が決まると、名簿作りや賞状の名
 - 6 初日の朝のテープカットなど、記念式典の準備をする。
 - 7 いいよ開催!
- このほかにも、駐車場や各イベントなどの準備をしますが、コンクールは基本的にすべて手作りです。
- 事務局では、「派手さはなくても、木と人のぬくもりが感じられる、あたたかみのあるイベントにしたい」と日々奮闘中です。



◎全日本こけしコンクール事務局
 (市庁舎2階商工観光課内)
 ☎22-1321

市内の男性最高齢者

半田盛さんが満100歳に



明治38年のお生まれで、3月4日に満100歳の誕生日を迎えた半田盛さん(郡山)のお宅を風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金100万円を贈り、長寿を祝福しました。

訪問した風間市長を前に、半田さんは中国やタイでの従軍経験や、戦前・戦後を通じて携わった納豆製造などについて話されるなど、元気いっぱいのご様子でした。盛さんからひ孫さんまで、家族みんなで仲良く暮らしていることが、長生きの秘訣とのことでした。

生涯学習に取り組む市民の祭典

第24回公民館まつり

3月11日から13日にかけて、「第24回公民館まつり」が開催されました。会場の中央公民館では、展示・即売・発表などの部門ごとに、大勢の市民が生涯学習に取り組んだ成果をいかに発表・展示しました。



3月12日の催事の部では、市内の高校生たちが軽音楽ミニコンサートを開いたのを始め、雑誌やテレビでおなじみの、精神科医で帝塚山学院大学教授の香山リカさんが、「自分らしさへの旅立ち」と題して講演を行いました。

モクズガニ養殖などが評価

毎日・地方自治大賞奨励賞を受賞

21世紀の地域づくりを先取りした優れた事業や運動など進めている全国の自治体を顕彰する、毎日新聞社主催の「2004年度毎日・地方自治大賞」の奨励賞に、宮城県から唯一白石市が選ばれました。

今回の受賞理由は、地域の活性化を目指し、市などの支援を受けながら寒くずやそば栽培、モクズガニ養殖などに取り組んでいる、小原地区活性化推進協議会を中心とした小原地区の皆さんの活動が、高く評価されたものです。



▲昨年11月のモクズガニ料理コンテスト

おいしくお茶をいただきました

西保育園で茶道体験



西保育園で3月3日、卒園の思い出にと年長組の19名が、園児の祖母などを先生に茶道体験をしました。

当日はひな祭りの日とあって、女の子たちは可愛い着物姿。園児たちはお茶をいただく側とおもてなしする側を交代で教わり、2服目は自分たちでお茶をたててみました。

「お茶は苦くなくて、おいしかった」と園児たち。しずしずと歩く姿や正座姿もさまになり、「立派な小学生になれるね」とほめられていました。

拍子木の音に合わせて「火の用心」

越河保育園児がパトロール

越河保育園で3月9日、卒園を間近にした年長組の園児14名が、保育園周辺を防火パトロールしました。



空気が乾燥して火災が発生しやすいこの季節。園児たちは拍子木をたたきながら、「火の用心! マッチ1本火事のもと」と元気良くかけ声をあげながらパトロールしました。

越河保育園の園児たちは、日ごろから幼年消防クラブ活動に参加するなど、防火意識を高めています。

絵本は心の栄養です

図書館で読み聞かせ講習会



図書館で3月7日、自宅に「のぞみ文庫」を開き、月1回仙台市太白図書館と共同紙芝居講座を実施するなど、長年読み聞かせを実践している仙台市の川端英子氏を講師に招き、読み聞かせ講習会を開きました。

約50名の参加者を前に川端氏は、「幼い子どもの言葉を育てるのは、日ごろの生活でそばにいる人間との対話。読み聞かせは、この対話を楽しく豊かなものにします」と読み聞かせの意義や絵本の選び方・読み方などを、実演を交えて講演しました。